

施工状況報告書

(第1面)

【一戸建ての木造軸組住宅用】

建設住宅性能評価の申請を行うに当たり、施工状況報告書を提出します。施工状況報告書に記載する内容は、事実に相違ありません。

評価対象建築物の名称※	
評価対象建築物の所在地※	
工事施工者※	住所 氏名又は名称 電話 ()

	検査対象工程	検査年月日	評価員の署名	施工（管理）者の署名
第1回目	基礎配筋工事の完了時			
第2回目	躯体工事の完了時			
第3回目	下地張りの直前の工事の完了時			
第4回目	竣工時			

〔申請者の記入要領〕

- ※の付されている欄は、建設住宅性能評価の申請の際に申請者が記入してください。
- 「評価対象建築物の名称」欄には、建設住宅性能評価の対象となる一戸建ての住宅が特定できる名称を記載してください。未定の場合は、その旨を記入してください。
- 「評価対象建築物の所在地」欄には、建設住宅性能評価の対象となる一戸建ての住宅が特定できる住居表示を記載してください。未定の場合は、その旨を記入してください。
- 「工事施工者」欄には、建設住宅性能評価の対象となる一戸建て住宅の工事を行う工事施工者の氏名又は名称、住所及び電話番号を記入してください。
- 「施工（管理）者の署名」欄には、各検査終了後に施工（管理）者自らが署名を行ってください。

〔記入上の注意〕

- 第2面以降の「施工状況報告欄」の「管理の時期」は、あくまで一般的な工事工程に即した目安となっています。工法や施工手順に応じて確認のタイミングは前後しますので、いずれかの検査時期で確認できれば問題ありません。
- 第2面以降の「検査項目」には、目標取得等級や工法に応じて不要となる項目も含まれます。設計住宅性能評価を受けた申請図書と照合の上、評価対象外となる検査項目は、取り消し線等で削除してください。
- 第2面以降の「施工状況報告欄」の「変更等の内容」欄は、変更が無いことを確認し（☒）を入れてください。なお、変更があった場合は「有」と記入し「関連図書」欄に「変更申告書」と記載し、別途「変更申告書」を提出してください。
- 第2面以降の「関連図書」欄に記載している関連図書は、必要となると思われるものの例です。他の関連図書で確認できるものであれば、適宜、追加してください。
また、性能が確認可能であれば、全ての関連図書を用意する必要はありません。

【一戸建ての木造軸組住宅用】

※の欄を施工管理者が記入のこと

	性能表示 事項	検査項目	施工状況報告欄 ※				施工状況確認欄							
			変更等 の内容	関連図書	管理の時期				確認内容	検査方法			判定結果（適・不適） 及び指摘事項の記録	
					1	2	3	4		A	B	C	[一次]	[二次]
	共 通	建物位置	□無		□	□			□建物の位置	□			□ 適 □ 不適	□ 適 □ 不適
構造の 安定に 関する こと	1-6 地盤又は杭 の許容支持 力等及びそ の設定方法	地盤・杭	□無	□ □地盤調査 報告書 □地盤改良 工事報告書 □工事写真	□				□地盤の種類、支持力 □地盤の調査方法 □地盤改良の方法 （実施した場合） □事業の状態	□		□	□ 適 □ 不適	□ 適 □ 不適
	1-7 基礎の構造 方法及び形 式等	基礎の形式	□無		□	□			□基礎の構造方法 □基礎の形式	□			□ 適 □ 不適	□ 適 □ 不適
	1-1 耐震等級 （倒壊防止）	基礎（寸法・ 配筋等）	□無	□	□				□基礎の配置	□	□	□	□ 適 □ 不適	□ 適 □ 不適
	1-2 耐震等級 （損傷防止）			□	□				□根入れ深さ	□	□	□		
	1-3 その他 （倒壊等防止）			□施工写真	□	□			□立ち上がり部分の高さ	□	□			
	1-4 耐風等級			□	□				□立ち上がり部分の厚さ	□	□	□		
	1-5 耐積雪等級			□	□				□基礎底盤の寸法	□	□	□		
				□	□				□主筋の径・位置	□	□	□		
				□	□				□補強筋の径・位置等	□	□	□		
				□	□				□開口周辺等の補強	□	□	□		
		部材の品質	□無			□			□部材の品質	□	□		□ 適 □ 不適	□ 適 □ 不適
		土台・柱等	□無	□ □納品書 □施工写真 □	□	□			□柱の小径 □土台の継手位置 □アンカーボルトの品質 □アンカーボルトの 埋め込み長さ □アンカーボルトの位置	□	□		□ 適 □ 不適	□ 適 □ 不適

【一戸建ての木造軸組住宅用】

※の欄を施工管理者が記入のこと

	性能表示 事項	検査項目	施工状況報告欄 ※				施工状況確認欄							
			変更等 の内容	関連図書	管理の時期				確認内容	検査の 方法			判定結果（適・不適） 及び指摘事項の記録	
					1	2	3	4		A	B	C	[一次]	[二次]
構造の安定に関すること	1-1 耐震等級 (倒壊防止)	耐力壁等	□無			□			□筋かい耐力壁の 位置・長さ	□			□ 適 □ 不適	□ 適 □ 不適
	1-2 耐震等級 (損壊防止)					□			□筋かいの種類・ 断面	□	□			
	1-3 その他 (倒壊等防止)					□	□	□	□面材耐力壁の位置 ・長さ	□	□	□		
	1-4 耐風等級					□	□	□	□面材の種類・厚さ	□	□	□		
	1-5 耐積雪等級	準耐力壁等	□無	□		□	□	□	□釘の種類と 止め付け状態	□	□	□	□ 適 □ 不適	□ 適 □ 不適
						□	□	□	□準耐力壁の位置・ 長さ	□	□	□		
						□	□	□	□たれ壁・腰壁の位置 ・長さ	□	□	□		
						□	□	□	□たれ壁・腰壁の幅と 両隣の状況	□	□	□		
						□	□	□	□面材の種類・厚さ	□	□	□		
						□	□	□	□面材の高さ	□	□	□		
						□	□	□	□釘の種類と止め付け 状態	□	□	□		
		床組等	□無	□		□			□火打ちの位置・種類	□	□	□	□ 適 □ 不適	□ 適 □ 不適
						□			□火打ちと取り合う梁	□	□	□		
						□			□火打ち材の止め付け 状態	□	□			
						□			□面材の種類・厚さ	□	□	□		
						□			□根太の寸法・間隔	□	□	□		
		屋根面	□無	□		□			□根太の取り付け工法	□		□	□ 適 □ 不適	□ 適 □ 不適
						□			□釘の種類と止め付け 状態	□	□	□		
						□			□屋根勾配	□	□			
						□			□面材の種類・厚さ	□	□	□		
			□	□		□			□垂木の寸法・間隔	□	□	□	□ 適 □ 不適	□ 適 □ 不適
						□			□釘の種類と止め付け 状態	□	□	□		
						□								

【一戸建ての木造軸組住宅用】

※の欄を施工管理者が記入のこと

	性能表示 事項	検査項目	施工状況報告欄 ※							施工状況確認欄					
			変更等 の内容	関連図書	管理の時期				確認内容	検査の 方法			判定結果（適・不適） 及び指摘事項の記録		
					1	2	3	4		A	B	C	[一次]	[二次]	
構造の安定に関すること		接合部	☐ 無	☐ 梱包材 ☐ ☐ 施工写真 ☐ 施工写真 ☐ 施工写真		☐			☐ 接合金物の品質 ☐ 筋かい端部の接合部 ☐ 柱脚・柱頭の接合部 ☐ 床・屋根の接合部 ☐ 胴差と通し柱の接合部	☐		☐	☐ 適 ☐ 不適	☐ 適 ☐ 不適	
		横架材	☐ 無	☐ ☐ ☐ ☐ 施工写真 ☐ 施工写真		☐			☐ 床大梁の断面・間隔 ☐ 床小梁の断面・間隔 ☐ 小屋梁の断面・間隔 ☐ 胴差の断面 ☐ 根太の断面・間隔 ☐ 垂木の断面・間隔	☐	☐	☐	☐ 適 ☐ 不適	☐ 適 ☐ 不適	
火災時の安全に関すること	2-1 感知警報装置 設置等級 (自住戸火災時)	感知警報装置	☐ 無	☐ 製品資料 ☐ 製品資料 ☐ 製品資料				☐	☐ 感知部分の設置場所 ☐ 感知部分の種別 ☐ 感知部分の取付位置 ☐ 感知部分の感度等 ☐ 警報部分の設置場所 ☐ 警報部分の性能	☐			☐ 適 ☐ 不適	☐ 適 ☐ 不適	
	2-4 脱出対策 (火災時)	脱出対策 (3階以上)	☐ 無	☐ 施工図 ☐ 納品書				☐	☐ 直通階段に直接 通するバルコニー ☐ 避難器具の設置	☐			☐ 適 ☐ 不適	☐ 適 ☐ 不適	
	2-5 耐火等級 (延焼のおそれのある部分 (開口部))	開口部の 耐火性能	☐ 無	☐ ☐			☐	☐	☐ 対象となる範囲 ☐ 開口部の防火性能 (サッシ・ガラスの種類)	☐			☐ 適 ☐ 不適	☐ 適 ☐ 不適	
	2-6 耐火等級 (延焼のおそれのある部分 (開口部以外))	外壁・軒裏 の構造	☐ 無	☐ ☐ 表示マーク の写真 ☐ 表示マーク の写真			☐	☐	☐ 対象となる範囲 ☐ 外壁の構造 ☐ 軒裏の構造	☐			☐ 適 ☐ 不適	☐ 適 ☐ 不適	

【一戸建ての木造軸組住宅用】

※の欄を施工管理者が記入のこと

	性能表示 事項	検査項目	施工状況報告欄 ※							施工状況確認欄					
			変更等 の内容	関連図書	管理の時期				確認内容	検査の 方法			判定結果（適・不適） 及び指摘事項の記録		
					1	2	3	4		A	B	C	[一次]	[二次]	
劣化の軽減に関すること	3-1 劣化対策 等級 (構造躯体 等)	外壁の 軸組等	☐ 無	☐		☐			☐ 通気構造等の状態	☐		☐	☐ 適 ☐ 不適	☐ 適 ☐ 不適	
				☐ 実施報告書		☐			☐ 保存処理の方法			☐			
				☐		☐			☐ 保存処理の状態	☐	☐	☐			
				☐		☐			☐ 部材の小径	☐	☐	☐			
				☐ 納品書		☐			☐ 部材の樹種	☐		☐			
		土台の 防腐・防蟻	☐ 無	☐ 納品書		☐			☐ 部材の樹種	☐		☐	☐ 適 ☐ 不適	☐ 適 ☐ 不適	
				☐ 納品書		☐			☐ 保存処理の方法			☐			
		浴室・脱衣室 の防水	☐ 無	☐		☐	☐	☐	☐ 浴室の防水措置	☐		☐	☐ 適 ☐ 不適	☐ 適 ☐ 不適	
				☐		☐	☐	☐	☐ 脱衣室の防水措置						
		地盤の防蟻・ 防蟻	☐ 無	☐		☐	☐	☐	☐ コンクリートの打設 範囲	☐		☐	☐ 適 ☐ 不適	☐ 適 ☐ 不適	
				☐		☐	☐	☐	☐ 土壌処理の材料	☐		☐			
				☐		☐			☐ 土壌処理の状態	☐		☐			
		基礎高さ	☐ 無			☐	☐		☐ 地面から基礎上端又は 地面から土台下端までの高さ	☐	☐		☐ 適 ☐ 不適	☐ 適 ☐ 不適	
		床下換気・ 防湿措置	☐ 無	☐		☐	☐		☐ 基礎開口の位置	☐	☐	☐	☐ 適 ☐ 不適	☐ 適 ☐ 不適	
				☐		☐	☐		☐ 基礎開口の大きさ	☐	☐	☐			
				☐ 梱包材		☐	☐		☐ ねこ土台の 寸法・形状	☐	☐	☐			
				☐		☐	☐		☐ ねこ土台の位置	☐		☐			
				☐		☐			☐ コンクリートの 打設範囲	☐		☐			
				☐ 工事写真		☐			☐ コンクリートの厚さ			☐			
		小屋裏換気	☐ 無	☐		☐	☐		☐ 給気口の 位置・大きさ	☐		☐	☐ 適 ☐ 不適	☐ 適 ☐ 不適	
				☐ 製品資料		☐	☐		☐ 排気口の 位置・大きさ	☐		☐			

【一戸建ての木造軸組住宅用】

※の欄を施工管理者が記入のこと

	性能表示 事項	検査項目	施工状況報告欄 ※							施工状況確認欄						
			変更等 の内容	関連図書	管理の時期				確認内容	検査の 方法			判定結果（適・不適） 及び指摘事項の記録			
					1	2	3	4		A	B	C	[一次]	[二次]		
維持管理・更新への配慮に関すること	4-1 維持管理 対策等級 (専用配管)	専用配管	☐ 無	☐		☐	☐		☐ コンクリート内 埋め込み配管	☐		☐	☐ 適 ☐ 不適	☐ 適 ☐ 不適		
		地中埋設管	☐ 無	☐		☐	☐		☐ 屋内の地中埋設管 上のコンクリート	☐		☐	☐ 適 ☐ 不適	☐ 適 ☐ 不適		
				☐		☐	☐		☐ 外周部の地中埋設管 上のコンクリート	☐		☐				
		専用排水管 の性状等・ 清掃措置	☐ 無	☐ 製品資料			☐	☐	☐ 排水管の仕様等、 設置状態	☐		☐	☐ 適 ☐ 不適	☐ 適 ☐ 不適		
							☐	☐	☐ 排水管の掃除口	☐						
温熱環境・省エネルギーに関すること	5-1 断熱等 性能等級						☐	☐	☐ トラップの清掃 措置	☐						
		配管点検口	☐ 無				☐	☐	☐ 開口の位置	☐			☐ 適 ☐ 不適	☐ 適 ☐ 不適		
							☐	☐	☐ 開口と配管の関係	☐						
		躯体の断熱 性能等，結 露防止及び 熱橋部対策	☐ 無	☐ 納品書 ☐ 施工写真		☐	☐	☐	☐ 断熱材の種類	☐		☐	☐ 適 ☐ 不適	☐ 適 ☐ 不適		
						☐	☐	☐	☐ 屋根材の保管・養生	☐		☐				
						☐	☐	☐	☐ 屋根又は天井の 断熱構造	☐		☐				
							☐	☐	☐ 壁の断熱構造	☐		☐				
							☐	☐	☐ 床の断熱構造	☐		☐				
						☐	☐	☐	☐ 土間床等の外周部 の断熱構造	☐		☐				
		開口部の 断熱性能等	☐ 無	☐ 製品資料 ☐ 製品資料			☐	☐	☐ 窓等の仕様	☐		☐	☐ 適 ☐ 不適	☐ 適 ☐ 不適		
							☐	☐	☐ ドアの仕様	☐		☐				
								☐	☐ 適用除外の窓の面積	☐	☐	☐				
		開口部の 日射遮蔽 措置	☐ 無	☐				☐	☐ 庇・軒等の状態	☐	☐	☐	☐ 適 ☐ 不適	☐ 適 ☐ 不適		
				☐				☐	☐ 付属部材の設置状況	☐		☐				
				☐ 製品資料				☐	☐ 窓・ドアの仕様	☐		☐				
				☐				☐	☐ 適用除外の窓の面積	☐	☐	☐				

【一戸建ての木造軸組住宅用】

※の欄を施工管理者が記入のこと

	性能表示 事項	検査項目	施工状況報告欄 ※				施工状況確認欄							
			変更等 の内容	関連図書	管理の時期				確認内容	検査の 方法			判定結果（適・不適） 及び指摘事項の記録	
					1	2	3	4		A	B	C	[一次]	[二次]
温熱環境・省エネルギーに関すること	5-2 一次エネルギー消費量 等級	躯体の断熱性能、結露防止及び熱橋部対策	☐ 無	☐ 納品書 ☐ 施工写真		☐	☐		☐ 断熱材の種類 ☐ 断熱材の保管・養生 ☐ 屋根又は天井の断熱構造 ☐ 壁の断熱構造 ☐ 床の断熱構造 ☐ 土間床等の外周部の断熱構造	☐		☐	☐ 適 ☐ 不適	☐ 適 ☐ 不適
		開口部の断熱性能等	☐ 無	☐ 製品資料 ☐ 製品資料		☐	☐		☐ 窓等の仕様 ☐ ドアの仕様 ☐ 適用除外の窓の面積	☐		☐	☐ 適 ☐ 不適	☐ 適 ☐ 不適
		開口部の日射遮蔽措置	☐ 無	☐ ☐ ☐ 製品資料 ☐				☐	☐ 庇・軒等の状態 ☐ 付属部材の設置状況 ☐ 窓・ドアの仕様 ☐ 適用除外の窓の面積	☐		☐	☐ 適 ☐ 不適	☐ 適 ☐ 不適
		設備機器の種類等	☐ 無	☐ 製品資料 ☐ 製品資料 ☐ 製品資料 ☐ 製品資料 ☐ ☐		☐	☐		☐ 暖房方式 ☐ 冷房方式 ☐ 換気設備方式 ☐ 給湯設備 ☐ 照明設備 ☐ 太陽光発電設備等 ☐ コージェネレーション設備	☐		☐	☐ 適 ☐ 不適	☐ 適 ☐ 不適

【一戸建ての木造軸組住宅用】

※の欄を施工管理者が記入のこと

	性能表示 事項	検査項目	施工状況報告欄 ※				施工状況確認欄							
			変更等 の内容	関連図書	管理の時期				確認内容	検査の 方法			判定結果（適・不適） 及び指摘事項の記録	
					1	2	3	4		A	B	C	[一次]	[二次]
空気環境に関すること	6-1 ホルムアルデヒド対策 （内装及び天井裏等）	居室の内装の仕上げ材	☐ 無	☐			☐	☐	☐ 製材等の有無	☐		☐	☐ 適 ☐ 不適	☐ 適 ☐ 不適
			☐	☐			☐	☐	☐ 特定建材の有無	☐		☐		
			☐	☐			☐	☐	☐ その他の建材の有無	☐		☐		
		ホルムアルデヒド発散等級（特定建材）	☐ 無	☐ 表示マークの写真 ☐ 工事写真			☐	☐	☐ 材料の性能区分	☐		☐		
							☐	☐	☐ 材料の使用範囲	☐		☐		
		天井裏等の下地材等	☐ 無	☐			☐	☐	☐ 製材等の有無	☐		☐	☐ 適 ☐ 不適	☐ 適 ☐ 不適
			☐	☐			☐	☐	☐ 特定建材の有無	☐		☐		
			☐	☐			☐	☐	☐ その他の建材の有無	☐		☐		
			☐	☐			☐	☐	☐ 換気・気密措置	☐		☐		
		ホルムアルデヒド発散等級（特定建材）	☐ 無	☐ 表示マークの写真 ☐			☐	☐	☐ 材料の性能区分 ☐ 材料の使用範囲	☐		☐		
	6-2 換気対策 （局所換気対策）	居室の換気対策	☐ 無	☐ 製品資料			☐	☐	☐ 機械換気設備の仕様	☐		☐	☐ 適 ☐ 不適	☐ 適 ☐ 不適
			☐	☐			☐	☐	☐ 機械換気設備の位置	☐		☐		
			☐	☐			☐	☐	☐ 給排気口の位置等	☐		☐		
			☐	☐			☐	☐	☐ 建具の通気措置	☐	☐	☐		
		局所換気対策	☐ 無	☐			☐	☐	☐ 機械換気設備 ☐ 換気のできる窓	☐		☐	☐ 適 ☐ 不適	☐ 適 ☐ 不適
		便 所	☐ 無	☐			☐	☐	☐ 機械換気設備 ☐ 換気のできる窓	☐		☐		
光・視環境	7-1 単純開口率 （単純開口率）	開口部 （方位別開口率）	☐ 無	☐			☐	☐	☐ 開口部の形状等	☐		☐	☐ 適 ☐ 不適	☐ 適 ☐ 不適
							☐	☐	☐ 開口部の大きさ	☐	☐	☐		
	7-2 方位別開口 比	開口部 （方位別開口比）	☐ 無	☐			☐	☐	☐ 開口部の形状等	☐		☐	☐ 適 ☐ 不適	☐ 適 ☐ 不適
							☐	☐	☐ 開口部の大きさ	☐	☐	☐		
音環境	8-4 透過損失等級（外壁開口部）	開口部の遮音性能	☐ 無	☐			☐	☐	☐ 開口部の遮音性能	☐		☐	☐ 適 ☐ 不適	☐ 適 ☐ 不適
			☐	☐			☐	☐	☐ 開口部の設置状況	☐		☐		

【一戸建ての木造軸組住宅用】

※の欄を施工管理者が記入のこと

	性能表示 事項	検査項目	施工状況報告欄 ※				施工状況確認欄							
			変更等 の内容	関連図書	管理の時期				確認内容	検査の 方法			判定結果（適・不適） 及び指摘事項の記録	
					1	2	3	4		A	B	C	[一次]	[二次]
高齢者等への配慮に関すること	9-1 高齢者等配慮対策等級 (専用部分)	部屋の配置等	☐ 無					☐	☐ 日常生活空間の配置	☐			☐ 適 ☐ 不適	☐ 適 ☐ 不適
								☐	☐ ホームエレベーターの設置	☐	☐			
		段差	☐ 無					☐	☐ 玄関出入り口の段差	☐	☐		☐ 適 ☐ 不適	☐ 適 ☐ 不適
								☐	☐ 玄関上がりかまちの段差	☐	☐			
							☐	☐	☐ 浴室出入口の段差	☐	☐			
							☐	☐	☐ バルコニー出入口の段差	☐	☐			
								☐	☐ 居室の部分の床と その他床の段差	☐	☐			
								☐	☐ その他の床の段差	☐				
								☐	☐ 日常生活空間外の 床の段差	☐	☐			
		階段	☐ 無					☐	☐ けあげ・踏面・ 蹴込み寸法	☐	☐		☐ 適 ☐ 不適	☐ 適 ☐ 不適
								☐	☐ 回り階段の構成	☐	☐			
								☐	☐ 平面形状	☐				
								☐	☐ 滑り止め	☐				
		手すり	☐ 無					☐	☐ 階段の手すり	☐			☐ 適 ☐ 不適	☐ 適 ☐ 不適
								☐	☐ 便所の手すり	☐				
								☐	☐ 浴室の手すり	☐				
			☐ 施工写真					☐	☐ 玄関の手すり	☐		☐		
			☐ 施工写真					☐	☐ 脱衣室の手すり	☐		☐		
		(転落防止のための手すり)						☐	☐ バルコニーの手すり	☐	☐			
								☐	☐ 2階以上の窓の手すり	☐	☐			
								☐	☐ 廊下及び階段の手すり	☐	☐			
		通路・出入口の幅員 (日常生活空間)	☐ 無					☐	☐ 通路の幅員	☐	☐		☐ 適 ☐ 不適	☐ 適 ☐ 不適
								☐	☐ 玄関出入口の幅員	☐	☐			
								☐	☐ 浴室出入口の幅員	☐	☐			
								☐	☐ 他の出入口の幅員	☐	☐	☐		
		寝室、便所及び浴室 (日常生活空間)	☐ 無					☐	☐ 特定寝室の広さ	☐	☐		☐ 適 ☐ 不適	☐ 適 ☐ 不適
								☐	☐ 便所の広さ等	☐	☐	☐		
								☐	☐ 浴室の広さ	☐	☐			

【一戸建ての木造軸組住宅用】

※の欄を施工管理者が記入のこと

	性能表示 事項	検査項目	施工状況報告欄 ※				施工状況確認欄							
			変更等 の内容	関連図書	管理の時期				確認内容	検査の 方法			判定結果（適・不適） 及び指摘事項の記録	
					1	2	3	4		A	B	C	[一次]	[二次]
防犯に関する こと	10-1 開口部の 侵入防止 対策 []階 ※	住戸の 出入口 区分 a	□無	□				□	□戸・ガラスの性能・ 施工状態 □□錠の数・性能・仕様・ 設置状態	□		□	□適 □不適	□適 □不適
		外部から の接近が 比較的容 易な開口 部 区分 b	□無	□				□	□開口部の位置 □□サッシの性能・施工 状態 □□ガラスの性能・施工 状態	□		□	□適 □不適	□適 □不適
			□					□	□戸・ガラスの性能・ 施工状態 □□錠の数・性能・仕様・ 設置状態	□		□	□適 □不適	□適 □不適
			□					□	□雨戸等の性能・施工 状態	□		□	□適 □不適	□適 □不適
			□無	□				□	□開口部の位置 □□ガラスの性能・施工 状態	□		□	□適 □不適	□適 □不適
		その他の 開口部 区分 c	□無	□				□	□開口部の位置 □□サッシの性能・施工 状態 □□ガラスの性能・施工 状態	□		□	□適 □不適	□適 □不適
			□					□	□戸・ガラスの性能・ 施工状態 □□錠の数・性能・仕様・ 設置状態	□		□	□適 □不適	□適 □不適
			□					□	□雨戸等の性能・施工 状態	□		□	□適 □不適	□適 □不適
			□無	□				□	□開口部の位置 □□ガラスの性能・施工 状態	□		□	□適 □不適	□適 □不適
			□					□	□雨戸等の性能・施工 状態	□		□	□適 □不適	□適 □不適

※ 1つの階に1つの欄を使用し、階の数だけ各欄を連結して使用する。